

カーボンニュートラル
で何が変わる？

大学って
敷居が高いのでは？

近くで大学と研究して
いる企業はある？

産学連携の先進事例やメリットが分かる

ものづくり企業様
対象

地域企業 × 岩手大学 × 奥州 連携フォーラム 2021

✓内容

○主催者あいさつ

奥州市長 小沢昌記 岩手大学長 小川 智

○講演

「カーボンニュートラル・脱炭素の潮流から奥州市への波及と産学官民地域連携」

岩手大学人文社会科学部 准教授 中島清隆

○岩手大学紹介

「岩手大学の概要と地域企業との連携」

岩手大学研究支援・産学連携センター センター長 水野雅裕

<休憩／名刺交換タイム(来場参加の方のみ)>

○奥州市と岩手大学の鑄造分野での産学連携の取り組み

「岩手大学鑄造技術研究センター水沢サテライトの取り組み」

岩手大学理工学部 教授(岩手大学鑄造技術研究センター長) 平塚貞人

「いわて鑄造研究会の取り組み」

いわて鑄造研究会 会長(株式会社根岸工業所代表取締役社長) 佐藤輝貴氏

○奥州市内企業と岩手大学との産学連携の取り組み

吉川化成株式会社様 第四事業部 生産技術課 リーダー 佐藤裕二氏

ヘッドアップディスプレイの光源部に使用される高性能フライアイレンズに関する研究

株式会社及富様

専務取締役 菊地 章氏

南部鉄器新商品開発のためのネコへの鉄分補給に関する研究

✓日時

10月6日(水) 13:30~16:30 (開場13:00)

✓会場

プラザイン水沢+オンライン配信

(奥州市水沢佐倉河字後田29

(zoomウェビナー)

TEL:0197-25-8811)

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、オンライン配信のみになる場合があります

✓定員

来場80名+オンライン参加90名(各々申込順)

✓申込方法

参加申込書
(裏面)に記入

下記申込先へ
FAX・メール

※切:9月29日(水)

主催:奥州市 国立大学法人岩手大学

後援(順不同):

岩手県南広域振興局、奥州商工会議所、
前沢商工会、アテルイの里・胆江工業クラブ、水沢工業団地振興会、
江刺工業団地企業協議会、前沢工業クラブ、本杉企業協議会、
胆沢企業協議会、水沢鑄物工業協同組合、
協同組合水沢総合卸センター、岩谷堂筆筒生産協同組合、
いわて鑄造研究会、みちのく奥州イブニングサロン、
奥州市企業誘致推進委員会

【申込先・お問合せ先】

奥州市企業振興課企業支援室

上條雄喜・千田澄人

TEL: 0197-24-2111(内線1531)

FAX: 0197-24-1992

E-mail: kigyou1@city.oshu.iwate.jp

奥州市企業振興課(上條・千田(澄))あて

FAX: 0197-24-1992

E-mail: kigyou1^{いち}@city.oshu.iwate.jp(メール本文に必要事項を入力して送信可)

地域企業 × 岩手大学 × 奥州連携フォーラム2021

参加申込書

| | | | | | |
|--------------|---------|----|-----------------------|--|--|
| 企業・団体名 | | | | | |
| 参加申込 ご担当者 | (所属・役職) | | | | |
| | (氏名) | | | | |
| 電話番号 | | | メールアドレス | | |
| FAX番号 | | | | | |
| 参加者名等 | | | | | |
| 所属 | 役職 | 氏名 | 参加方法 (どちらか ○印↓) | メールアドレス ※オンライン配信のみに 変更する場合があります すので来場の方も必ず ご記入ください | 参加者名簿・ 座席表への掲 載を希望しな い場合のみ ×印↓ |
| | | | 1.来場 2.オンライン | | |

【注意事項】

- ・当日は、参加者同士の交流を図るため、座席表(来場者のみ)と参加者名簿を配布(配信)する予定です。名簿掲載を希望しない方は、上記右端欄に×印を記入してください。
- ・オンラインで1つの画面を複数の方で見える場合は、メールアドレスは1つ記載で結構です。
- ※当日来場される方は、マスク着用の上でご参加ください。
また、体調がすぐれない場合は来場を見合わせてください。

申込〆切: 9月29日(水) (ただし定員になり次第受付終了となります)

FAX: 0197-24-1992

※受信確認後、折り返し市担当者よりご連絡します。

送信後3日以上経っても連絡がない場合は、未着の可能性がありますので、担当者(上條または千田(澄人))までお問い合わせください。